

事業コード	04060306			政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略						
事業名	地域公共交通等利用促進緊急対策事業			施策コード	06	施策名	交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築						
				指標コード	03	施策目標(指標)名	技術革新等を見据え地域の実情に応じた多様な地域公共交通の確保						
部局名	観光文化スポー	課室名	交通政策課		班名	地域交通班		(tel)	1283	担当課長名	岡部研一	担当者名	佐藤亘
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和02年度 ~ 令和02年度		

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少し、事業の継続が危ぶまれているバス事業者、第三セクター鉄道事業者及びタクシー事業者に対し、事業継続に向けた支援を行い、廃業等を防ぐとともに、県民等による利用を促進し、交通ネットワークの維持を図る必要がある。	3．事業目的(どという状態にしたいのか) 住民生活や観光誘客を支えるバス事業者、第三セクター事業者や、地域公共交通を担うタクシー事業者について、新型コロナウイルス感染症収束までの間に、廃業等を防ぐとともに、県民の利用促進を図る。 (重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望
---	--

2．住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期 : R02 年 04 月) ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 新型コロナウイルスの影響による減収についての支援を求める意見があった。	事業の実施主体 事業の対象者・団体 達成のための手段 ・新聞、広報誌、We b等の掲載による幅広い情報発信を行い、各事業での利用促進を図るとともに、車両の維持費用や安全対策に関わる費用等を適宜交付していく。
--	--

把握してない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

5．事業の全体計画及び財源

単位(千円)

順位	事業内 記	左 の 説 明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	バス事業利用促進緊急対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けているバス事業への輸送力維持及び県民等の利用促進に向けた支援	138,987	0	0	0	0	0	138,987
02	三セク鉄道利用促進緊急対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けている三セク鉄道への安全対策及び県民等の利用促進に向けた支援	43,856	0	0	0	0	0	43,856
03	タクシー事業利用促進緊急対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けているタクシー事業への輸送力維持及び県民等の利用促進に向けた支援	76,396	0	0	0	0	0	76,396
財源内 記			259,239	0	0	0	0	0	259,239
国 庫 補 助 金			0	0	0	0	0	0	0
県 債			0	0	0	0	0	0	0
そ の 他			0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源			259,239	0	0	0	0	0	259,239

6．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み												
事業の期待される成果		バス、タクシー事業の輸送力の維持										
指標	指標名	貸切バス等台数								指標の種類		
	指標式	県内の貸切バス、高速バス、空港リムジンバス台数								● 成果指標 ○ 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）											
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度			
	目標a		357	357					357			
	実績b		357	データ等の出典								
	東 北		秋田運輸支局調べ									
	全 国											
	把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 06月 ○ 翌々年度 月											
	指標	指標名	タクシー台数								指標の種類	
指標式		県内のタクシー台数								● 成果指標 ○ 業績指標		
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）												
指 標		30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度			
目標a				1,310					1310			
実績b			1,310	データ等の出典								
東 北			秋田運輸支局調べ									
全 国												
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 06月 ○ 翌々年度 月												
指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由												
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)												
事業の必要性												
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性 新型コロナウイルスの影響を受けているバス、三セク鉄道、タクシー事業の輸送力の維持、安全運行の確保のため実施する事業であり必要性を有する。												
住民ニーズに照らした事業の必要性 各事業者からの新型コロナウイルスの影響に対する支援の要望を受けて実施する事業であり、必要性を有する。												
事業の県関与の必要性 ☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ■ 県でなければ実施できないもの ☐ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの												
貸切バス、タクシー、三セク鉄道を利用した複数市町村を跨ぐ広域的な県内周遊を促進する事業であり、県でなければ実施できないものである。												
政策評価委員会意見												
重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定												
○ 重点事業 ○ その他												